

様式 A-1

平成29年 6月 10日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 筑波大学附属駒場高等学校・多尾奈央子

2. 講師氏名: MARTIN, John. D. 博士

3. 同行者氏名: Mr. Norimatsu

4. 実施日時: 平成 29年 6月 10日 (土) 10:30 ~ 12:20

5. 参加生徒: 高校2年生 13人
備考: 教科「課題研究」講座で英語講座を選択した生徒

6. 講演題目: (英文) Solid stress in tumors

7. 講演概要:

- ・United States / Silicon Valley / innovation
- ・Motivation as a scientist/engineer: care about health/fitness and innovation
- ・How new facts about the world scientists discover become useful
- ・Career goal: to discover something new and make it useful so that it helps cancer patients
- ・Cancer drugs, blood vessels, and tumor blood vessels
- ・Experiments in class
- ・Results in mouse tumors
- ・Results in clinical trials

8. 使用言語: 英語

9. 講演形式:

- (1) 講演時間 100 分 質疑応答時間 20 分
- (2) 講演方法: プロジェクター使用による講演 および 研究内容に関する実験
- (3) 通訳: なし
- (4) 事前学習時使用教材

事前にいただいた講義の概要と、用語集をプリントにまとめて生徒に配布。

10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 謝金

11. その他特筆すべき事項:

様式 A-4

JSPS サイエンス・ダイアログ アンケート(参加校の先生)

1. 本事業に参加した理由を教えてください。
「課題研究(英語講座)」で英語発表技術および科学的知識を高めるため。

2. 事前打ち合わせについて
コミュニケーション方法を教えてください。(複数回答可)

- 1) メール
- 2) 直接講師と

* 打ち合わせた内容: 時間・内容・使用機器について

3. 生徒は、講演における英語をどの程度理解できたと思いますか？
 ほとんど理解できた。

4. 講演における研究関連についての説明の難易度はいかがでしたか？
 ちょうど良かった。

5. 事前学習は行いましたか？
 行った

具体的な内容: 講師の先生からいただいた講義の概要および研究に関連する語句をプリントにまとめて各生徒に配布し、当該分野について事前に確認しておくよう促した。

6. 今回の講演によって、生徒にどのような効果があったと思いますか？
ご自身のことも専門的内容についても、わかりやすく丁寧にお話をしてくださり、そもそも全体として生徒の理解度は高かったのですが、さらに研究内容や成果について実験を行っていただいたことで生徒は体験としてさらに理解を深めることができました。理解できたからこそ、質疑応答も活発なものになりました。生徒自身が研究発表等でプレゼンを用意する際に必要なことなども学ぶことができた大変充実した講義となりました。

7. 全体として、今回の講演はいかがでしたか？
大変良かったです。

良かった点、良くなかった点を具体的に教えてください。
報告書に記述の通り。

8. 何かお気づきの点や感想などがありましたら、お書きください。
やはり実演や実験があると生徒の理解度は特段に上がります。

9. 再度、本事業を活用したいと思いますか？
 是非活用したい